



Reitaku Overseas Development Association
RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

平成29年
(2017年)
7月20日

第23号

第15巻 第1号
年2回発行

主な記事

巻頭 会長挨拶（廣池幹堂）
報告 第13回 タイ・スタディーツアー報告
麗澤大学 国際協力グループ活動報告
平成28年度 事業報告（同決算報告）
その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953
<http://www.reitaku.or.jp>
発行人・木下廣太郎／編集人・横山守男

志ある若い世代の育成にも貢献しよう



一般財団法人 麗澤海外開発協会

会長 **廣池 幹堂**

麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の意志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）に外務省所管の財団法人として設立されました。以来40年以上にわたり、微力ながらも開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には新たに内閣府より「一般財団法人」として認可されました。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、アジアの子供たちのための奨学金制度「竹原基金」も設置しています。これは、当協会の副会長でラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠したものです。この基金を生かして、貧困等の理由で学校へ通えない、アジアの多くの子供たちへの教育支援を進め、平成26年度よりアジアからの留学生も招聘しています。昨年度の9月からは、3人目の留学生としてラオス国立大学の学生ブンタヴィー・サイヤーさんが麗澤大学の別科日本語研修課程で学び、今年の9月には新たに大学生1名を招聘します。さらに、ボランティアの一環として、タイ、ラオス等におけるスタディーツアーも実施しています。このツアーには学生・生徒・青年たちが参加し、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して国際協力への理解を深めています。

創建者・廣池千九郎の志、そして先人・先輩の思いを受け継ぎ、社会に貢献していく人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。ささやかではありますが、「世界の平和、人類の安心と幸福の増進」に寄与するため、これまでの経験と実績を踏まえ、志ある若い世代の育成にも貢献し、「心の通い合う国際協力」をいっそう推進していきたいと願っています。

第13回 タイ・スタディツアーを開催

平成29年2月15日～24日（チェンライ、チェンマイ、バンコク）

平成29年2月15日から24日までの10日間、麗澤海外開発協会では第13回のタイ・スタディツアーを開催しました。恒例の訪問先であるタイ北部のメーコック財団（※1）や、ルンアルン（暁）プロジェクト（※2）に滞在し、子供たちや現地の人々との交流、ボランティア活動を行いながら、異文化やタイが抱える諸問題について考え、参加者それぞれの視野を広げるツアーとなりました。例年多くの麗澤大学生の参加があり、このツアーをきっかけにタイへの留学を決めたり、国際協力関係の仕事に進んだり、参加学生にとって将来への可能性を広げるツアーにもなりつつあります。



メーコック財団で交流を深める

今回のツアーでは、ベンチのペンキ塗り、訪問者への食事の配膳、片付けなどの手伝いを行いました。メーコック財団では寄付だけに頼らず、自ら収入を得るためにゲストハウスやレストランを運営しています。集会やキャンプ、研修などの会場を提供し、多い時には国内外から100名以上の訪問者が滞在しています。ツアー滞在中も訪問者のグループがあり、参加者の学生たちは子供たちと一緒に積極的に受け入れを手伝いながら、徐々に子供たちとも距離を縮めていく姿が見られました。その他、日本のカレーを作り子供たちやスタッフにふるまったり、滝では互いに水をかけあって遊んだり……それぞれに交流を深めながらも子供たちの置かれた環境の厳しさ、また彼らのたくましさを感じた滞在でした。



（※1）メーコック財団

1991年にタイ北部において観光による地域の発展の活動をしていたピパット・チャイスリン氏が、竹原茂副会長等の協力のもとに立ち上げた「現地の問題解決と生活の質の向上をめざす団体。現在は28名の子供たちが支援を受け、共同生活をしながら通学している。

ルンアルン（暎）プロジェクトを訪問

チェンライ市内から車で約2時間、ちょうどチェンマイとの間に位置する町にルンアルン（暎）プロジェクトがあります。今回も代表の中野穂積さんにご案内いただきました。30年近くこの地に住み、現地の方と共に活動されてきた中野さんのお話を伺った後、さらに車で山道を1時間、ホームステイ先のアカ族の村に着きました。参加者が2名ずつ、各家庭に1泊お世話になり、言葉も通じない中での異文化体験となりました。またプロジェクトが運営するコーヒー農園を訪問、有機栽培で山の斜面で育てられるコーヒーや焙煎の工程を見学しました。



（※2）ルンアルン（暎）プロジェクト

代表の中野穂積氏が山岳民族の中高生を対象に、安定した生活と職業訓練の機会を提供するため1987年に設立。30年近く寮を運営し共に生活しながら、生徒たちを支援してきた。近年は職業訓練プログラムを行い、2名の青少年が学校外教育を受けている。また有機農法によるコーヒーの栽培と販売を通して、地域の持続可能な生活向上をめざして活動している。

ツアー参加者の声

私は少数民族に関心があったので、実際に宿泊させていただいたのはとても新鮮だった。タイに来て、これまで食べてきたタイ料理とは全く違うような夕食で独特な料理だと思った。食べてみると美味しく、日本では食べられないような味で、材料もお父さんが実際にとってきた魚や鳥だと聞いて驚いた。……日本にいるだけだと気づけなかったことにも気づけた。本当に収穫の多いツアーだった。全プログラムが勉強になったし、充実していたと感じた。現地の方々や今回のタイスタ・メンバーには感謝の気持ちでいっぱい。今回のタイスタで学んだことをもっと次につなげていきたい。今回だけの体験になるのではなく、次の経験に活かしていきたい。そして、またタイに行く時には更にレベルの高い学びができるように努めていきたい。（麗澤大学1年 木村玲希）



麗澤大学 国際協力団体 Plas+ が カンボジアでの「安全な学び場づくり」プロジェクトを実施

平成29年2月5日から2月18日まで、麗澤大学国際協力団体（ゼミグループ）Plas+（プラス）に所属する学生9名（昨年4月に加入したメンバーを含む）は、第4回のカンボジア研修を行いました。今回も、麗澤海外開発協会（RODA）が建設に携わったコンポントム州のトム・オー小学校を訪問し、同小学校における「安全な学び場づくり」プロジェクトを実施しました。

【トム・オー小学校とは】

コンポントム州トム・オー村で唯一の小学校。2008年に麗澤海外開発協会の資金援助によって建設された。教員数4名、生徒数約200名、教室数は3つある。

【トム・オー小学校が抱える問題】

Plas+がこれまでに実施した2度の現地調査から、トム・オー小学校の校庭は、村人の近道として利用されていることが分かり、さらにバイクや耕運機が度々侵入し、子供たちに危険が及んでいることも明らかになった。この現状については、村長をはじめ、同小学校の校長先生や先生たちが大変心配していることでもあり、Plas+では、この問題を解決するために「トム・オー小学校における安全な学び場づくり」プロジェクトを考案した。

【プロジェクトの概要】

名称：トム・オー村における安全な学び場づくりプロジェクト

問題：校庭内へのバイク等の侵入により、子供たちが事故に遭う危険がある。

原因：近隣住民が近道として、校庭内を通り抜けることが、村の日常となってしまう。

現状：5分間に4～5台のバイクが校庭内を横切る。

過去に行われた対策：呼び掛けや、簡易的な柵で道を塞ぐ（すぐに壊されてしまったという）

〈Plas+の計画〉

- ① 短期：「飛び出し坊や」(※)を設置し、交通安全を注意喚起する。
- ② 中期：交通安全に特化した出前授業を続け、危機意識を共有する。
- ③ 長期：村人とともに、小学校の四方を囲う丈夫な塀を築き、バイク等の侵入を防ぐ。

（※）飛び出し坊や

子供の飛び出しによる事故を防止するために設置された、ドライバーへの注意喚起を目的とする看板。子供のイラストをモチーフにしていることから地域で大変親しまれている。滋賀県発祥で、中国、台湾、ネパール、バヌアツなどにも普及している。ちなみにカンボジアでは今回が初めてとなる。

建設業者・先生との話し合い

担当：（4年生）村瀬朱里・森田遼太郎

- ① 建設業者との話し合い
- ② 小学校の先生、副村長との話し合い

ここでは、建設業者と一緒に決めた建設計画について報告し、合意を得ることができた。また、工事が着工されるまでの間、学校内にバイクや耕運機で侵入しないこと、学校周辺では登下校する子供たちに注意することを、村人に浸透させてもらうように協力をお願いした。また先生たちは、バイクや耕運機の小学校への侵入を防ぐ簡易的な柵をすでに作成・設置していて、小学校の協力体制が整っていることを再確認することができた。



小学校における先生と副村長との話し合い

子供向け出前授業

担当：（4年生）大久保佳織／（1年生）小田嶋優花・谷内うらら

- ① 日本とカンボジアの違いクイズ
- ② 紙芝居の読み聞かせ
- ③ 危険を考えるワークショップ
- ④ 「飛び出し坊や」の設置



紙芝居の読み聞かせはクメール語で



飛び出し坊や(中央上)の設置後に全員集合

大人向け相談会

担当：（4年生）大塚桃香・宮崎杏

- ① Plas+の紹介／② 問題提起
- ③ 塀建設の賛否確認
- ④ KJ法(カードを使ってグループ化する方法)を用いたワークショップ
- ⑤ アンケート、質疑応答



塀建設の賛否を挙手制で採決



運動会での「借り物競走」

運動会

担当：（4年生）市川舞夏／（1年生）安部和佳奈

- ① 準備体操
- ② 借り物競走

あらかじめスケッチブックにお題を記入して用意し、各チーム2人組のペアを作って競走した。借りてくるもののお題を「校長先生」や「日本人の男性」など、子供たちが楽しめる内容にした。特に「水」というお題では、水を手ですくって持ってくる子供やペットボトルに入れてくる子供など、それぞれに個性があふれていた。

- ③ チーム対抗リレー

麗澤大学の学生団体“Be a Bridge”が ネパールで「減災教育活動」を行う

2月22日から3月3日にかけて、麗澤大学外国語学部国際交流・国際協力専攻（通称：IEC専攻）の学生有志で構成される“Be a Bridge（麗澤とネパールの架け橋に）”の5名（3年の櫛山万葉さん・木村隆さん・中島有紀さん、2年の林萌生さん、1年の池澤瑞希さん〈当時〉）がネパールを訪問し、現地の学校で減災教育活動を行いました。

ネパールにおける「防災意識」を高める

麗澤大学外国語学部 IEC 専攻の学生有志は、平成 26 年度からさまざまなボランティア活動を行っています。平成 27 年(2015) 4 月 25 日に発生したネパール大地震の後で現地および JICA 事務所への訪問・取材を重ねた結果、「現地では、日本で行われているような避難訓練・防災教育等があまり行われていない」ことが分かりました。これを受けて活動のテーマを「減災教育」とし、現地の人々の目線でどのような防災対策を実践すればよいかを現地の人々と一緒に考える時間をつくり、防災意識を高めることを目標にネパールを訪問しています。

昨年(平成 28 年 9 月)の第 2 回渡航では、バグマティ県シタパイラ村に位置する Shree Sitapaila Higher Secondary School を訪問し「発災時にどのような対応が必要か」についてのワークショップを実施しました。また、平成 27 年の第 1 回渡航時に訪れた際には、貧富の差から制服がなく筆記用具も持たずに登校し、それが原因で授業についていけない生徒も多いことを知り、彼らに少しでも勉強の楽しさを知ってもらうために、昨年度の 1 学期間に麗澤大学内で支援物資の募集を行い、集まった筆記用具を同校に寄付しました。



10 日間のフィールドワークに取り組む

第 3 回となる今回も、世界遺産への訪問を通して震災復興の経過を視察するとともに、同校での減災教育ワークショップを展開し、前回同様にブリーフィング（簡単な状況説明・報告）を交えつつ、日本人が初等教育の段階から学ぶ防災キーワード「おかしもち（おさない/かけない/しゃべらない/もどらない/ちかよらない）」を紙芝居で教えるなど、10 日間のフィールドワークに取り組みました。

“Be a Bridge”の活動基盤は「国際協力について学ぼう」という意欲にあり、その原動力は「麗澤とネパールとの関係をこれからも絶やさないための橋渡し役となり続けよう」という思いにあります。今回の訪問について、参加学生は「地震大国である日本から彼らに、我々が学んできたことを少しでも知ってもらい、それによって今後被害がわずかでも少なくなることを願っています」とのコメントを寄せてくれました。

平成28年度 事業報告

1. 支援事業への助成について

- タイ北部チェンライ県で、生活が困窮している少数民族の児童に対して生活・教育支援施設の運営事業を実施している「メーコック財団」に対して助成を行った。
- タイ北部チェンライ県で、農業技術指導と教育支援を行っている「ルンアルン（暁）プロジェクト」に助成した。
- 東南アジアからの留学生への支援を行った。
 - ラオス国立大学文学部日本語学科から3人目の留学生を次のとおり招聘した。
 - 氏名 ブンタヴィー・サイヤー (BOUTHAVI XAYYA) 22歳・男性
 - 留学先 麗澤大学 別科日本語研修課程/期間 平成28年9月9日～平成29年8月初旬（1年間）
 - 麗澤大学が受け入れているブータンからの留学生に対し、麗澤大学国際交流センターと連携をとりながら支援を行った。
- ネパールにおいて東洋療法（鍼灸・指圧）による住民の健康回復に寄与するため、無医村で無料巡回治療（ヘルスキャンプ）を実施した「よもぎの会」に助成を行った。
- ネパール・カトマンズから東へ70キロのアネコット村のシェリーカレカ中学・高等学校に助成を行った。

2. スタディツアー等の実施について

- 東南アジア諸国で活動する支援団体等の現状を視察し、海外ボランティア活動に理解を深めるためにスタディツアーを実施した。
 - タイ・スタディツアー
 - 訪問先 タイ（メーコック財団、ルンアルン（暁）プロジェクト）
 - 日程：平成29年2月15日～2月24日（10日間）/参加者：7名（引率＝桑島朋子事務局員、今木祥恵事務局員）
- 麗澤各校が主催するスタディツアーへの支援と協力を行った。
 - 麗澤大学タイ・スタディツアー
 - 訪問先 タイ（メーコック財団、ルンアルン（暁）プロジェクト）
 - 日程：平成28年8月22日～8月31日（10日間）/参加者：6名（引率＝ヨネスク・マグダレーナ助教、田中彩音職員）
 - 麗澤高等学校タイ・スタディツアー
 - 訪問先 タイ（バンコク、チェンライ）
 - 日程：平成28年12月21日～12月29日（9日間）/参加者：20名（引率＝折笠悠子教諭、松倉功和教諭）
- 麗澤大学外国語学部国際交流・国際協力専攻（IEC）の学生が企画した海外ボランティア活動に助成を行った。
 - ネパールの小中学校における減災授業及び震災復興ボランティア作業
 - 訪問先：ネパール（カトマンズ）
 - 第2回 平成28年9月5日～9月10日（6日間）、参加者3名
 - 第3回 平成29年2月22日～3月3日（10日間）、参加者5名
 - カンボジアの小学校における出前授業及びボランティア作業
 - 訪問先：カンボジア（シェムリアップ、コンポントム州） トム・オー小学校/日程：平成29年2月5日～2月18日（14日間）、参加者9名

3. 研究・調査について

- ラオスを訪問し、大学やその他の教育機関、NPO団体等を訪問し、今後の支援について打ち合わせを行った。
 - 訪問先 ラオス（ビエンチャン）/日程：平成28年5月16日～5月23日（8日間）/訪問者：竹原茂副会長、木下廣太郎事務局員
- ネパールを訪問し大地震後の現状視察を行い、今後の復興計画等についての打ち合わせを行った。
 - 訪問先 ネパール（カトマンズ、アネコット村等）/日程：平成28年12月10日～12月18日（9日間）/訪問者：木下廣太郎事務局員

4. 広報活動について

- ニューズレター第21号（発行日：7月25日）、第22号（発行日：2月10日）を発行した。
- ホームページを更新した。

5. 出展活動について

当協会の活動に理解や支援者を募るため、会員の募集や写真展示等を行った。

- 「伝統の日・感謝の集い」
 - 日程：平成28年6月4日（土）、6月5日（日）・場所：廣池学園中央広場

6. 賛助会員等の募集状況について

- 賛助会員、寄付金、竹原基金の募集を行った。

- 賛助会員 138件
(個人127件、団体11件)
- 準会員 24件
- 寄付金 156件
- 竹原基金 76件

平成28年度 正味財産増減計算書

(単位:円)

経常収益の部		経常費用の部	
① 基本財産運用益	8,469	I 事業費	
② 特定資産運用益	1,513,191	① 消耗品費	11,062
③ 賛助会員受取会費	2,240,000	② 通信運搬費	168,206
④ 準会員受取会費	48,000	③ 旅費交通費	118,032
⑤ 受取寄附金	1,430,148	④ 食費宿泊費	138,118
⑥ 受取竹原基金寄附金	776,181	⑤ 海外旅費	1,838,882
⑦ 受取ツアー参加費	750,000	⑥ 広報活動費	193,320
⑧ 受取利息	60	⑦ 図書資料費	5,662
⑨ 雑収益	0	⑧ 雑費	18,187
経常収益合計	6,766,049	⑨ 支払助成金	3,767,513
		事業費合計	6,258,982
		II 管理費	1,596,834
		経常費用合計	7,855,816
		当期正味財産増減額	△ 1,089,767

一般財団法人 麗澤海外開発協会 理事・監事・評議員

理事・監事（理事8名、監事2名）

*任期：2年（平成29年6月17日～平成31年定時評議員会終結時）

会長 廣池幹堂 / 副会長 竹原 茂 / 常務理事 木下廣太郎

理事 甲良昭彦、小西昭之、土谷和光、濱井利一、堀内一史

監事 長谷篤治、俣野幸昭

評議員（5名）*任期 4年（平成29年6月17日～平成33年定時評議員会終結時）

井上源一、小野義仁、木津孝道、横山明弘、横山守男

たくさんのご支援、ありがとうございます

<平成28年4月1日～平成29年3月31日> 掲載に同意された方をご紹介します（順不同）

■会費

廣池幹堂, 甲良昭彦, 内田誠一郎, 木下廣太郎, 関哲夫, 山口明, 大橋政夫, 野田ミート(株), (株)ピアかざりや, 内田八代, 竹原茂, 長谷和治, 土谷和光, 大河原良雄, 渡辺康博, 栗山清和, 高松宇佐雄, 横山守男, 山本祥子, 大山寿々枝, 柏谷康博, 橋本半兵衛, 横山印刷(株), 小山松男, 合資 川貞商店, 今井收, 所一彌, 石渡英雄, 長谷篤治, 山田雅雄, 佐藤薬品工業(株), 山本浩, 小野剛, 松本哲洋, 小西直之, 藤村薫, 古川定邑, 俣野幸昭, 桑島義智, 梅村元成, 小嶋義佑, 和田悦治, 堀内一史, 田口英樹, 太田徳昭, 今木康之, 増田一江, 小林雅純, 中川千恵子, 三木実, 大内栄三, 永治達彦, 水田恵一郎, 島田京子, 長谷川和子, 濱井利一, 大上正, 長谷真千子, 河村満, 奥光明, 上田通泰, 野田雅義, 福井博康, 桑島朋子, 黒川洋, 平塚靖永, 須見好和, 有限会社 弘明堂, 松岡孝孝, 木津孝道, 村瀬泰比古, 松本彰夫, 澤田栄作, 沼野文子, 関口輝比古, 細野眞, 菅間正則, 岩田英志, 山口秀正, 横山明弘, 黒白常光, 菅澤運一, 藤尾侑男, 田中一宏, 板垣廣光, 小金井暁子, 沖野二郎, 北川治男, 鈴木貞夫, 森口真美, 淡島成高, 八代京子, 永治真樹, 肥塚憲造, 森田武志, 青木久子, 三木重充, 今木祥恵, 益田晴華, 伊藤温夫, 村田光生, 岸上肇, 吉井通裕, 相生モラロジー事務所, 四日市西部モラロジー事務所, 世田谷北沢モラロジー事務所

■準会費

望月敏雄, 阿折淑子, 俣野貴昭, 武田夏実, 俣野喜代美, 俣野智美, 長谷英治, 中村靖夫, 高野橋健吉, 杉生ウタエ, 行本まり子, 安田誠一, 野川裕史, 浜井則継, 木村玲稀, 柴田優美, 守田紀香, 佐藤惇, 内山実緒, 林善介

■一般寄付金

廣池幹堂, 木下廣太郎, 内田八代, 長谷和治, 荒木郁雄, 渡辺康博, 中村修一, 横山守男, 小松務, 山本祥子, 所一彌, 上田通泰, 大山寿々枝, 長谷川和子, 長谷篤治, 山田雅雄, 野田好秋, 俣野幸昭, 神田和, 山崎純雄, 小嶋義佑, 和田悦治, 堀内一史, 大住敬一, 井上照悟, 木崎重安, (株)ダイキョープラザ, 福井博康, 林善介, 荻野益男, 俣野貴昭, (株)小松製菓, 松岡孝孝, 木津孝道, 小川彰平, 俣野智美, 平野隆夫, 橋本光世, 行本まり子, 井出一男, 山田武司, 森田政見, 沖野二郎, 小西正純, 森口真美, 永治真樹, 小野義仁, 肥塚憲造, 森田武志, 青木久子, 関俊章, 伊藤温夫, 油谷恒雄, 石黒美恵子, (株)丸信, 早乙女静子, 増田顕次郎, 板橋芳夫, 島崎敦, 柿本勇人, 笠田環嗣, 片山道則, 勝矢啓司, 北敬子, 橋高重久, 木村修身, 三浦洋嗣, 小林安子, 酒井克一, 神野稔也, 鋤柄誠治, 高野橋弘, 富松哲次, 長尾小静, 宮田敏子, 西脇照男, 橋富英仁, 中津川達雄, 久保田恵子, 御代川克之, 三笠忠克, 佐久間三郎, 三上ハツミ, 大阪旭モラロジー事務所, 春日部モラロジー事務所, 高知モラロジー事務所, 高松モラロジー事務所, 尾西モラロジー事務所, 栃木市モラロジー事務所, 長島モラロジー事務所, 美浜モラロジー事務所, 宮城県北部モラロジー事務所, 横浜港北モラロジー事務所, 鹿行モラロジー事務所, 栗東モラロジー事務所, 静岡県モラロジー協議会女性クラブ, 廣池学園 まんりょうの会, 大阪和泉モラロジー事務所

■竹原基金

廣池幹堂, 木下廣太郎, 山口明, 内田八代, 長谷和治, 竹原茂, 土谷和光, 大河原良雄, 荒木郁雄, 高松宇佐雄, 横山守男, 山本祥子, 山本浩, 和田悦治, 大山寿々枝, 柏谷康博, 澤田栄作, 所一彌, 長谷篤治, 山田雅雄, 野田好秋, 桑島義智, 小嶋義佑, 堀内一史, 上田通泰, 福井博康, 橋本半兵衛, 荻野益男, 桑島朋子, 松岡孝孝, 横山明弘, 中村靖夫, 森田政見, 沖野二郎, ウィクラマラタナ文子, 森口真美, 永治真樹, 青木久子, 伊藤温夫, 山田莊一, 片山道則, 加藤栄一郎, 加藤信次, 桑島祥子, 小林一正, 鋤柄誠治, 三浦洋嗣, 大垣モラロジー事務所, 支援キルトの会ふーぶ, (株)めこん, 堺北モラロジー事務所, 浜松西モラロジー事務所, 美浜モラロジー事務所

《会員・準会員募集中》

麗澤海外開発協会は皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。
会員および準会員を募集していますので、是非ご入会いただきますようご案内いたします。

種類	年額
会費	1口1万円（1口以上）
法人会員	1口1万円（1口以上）
準会員	1口2千円（1口以上）
寄付金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00210-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱東京UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人 麗澤海外開発協会 事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL：04-7173-3165

FAX：04-7173-8953

E-Mail: kaikyoo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP: http://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください